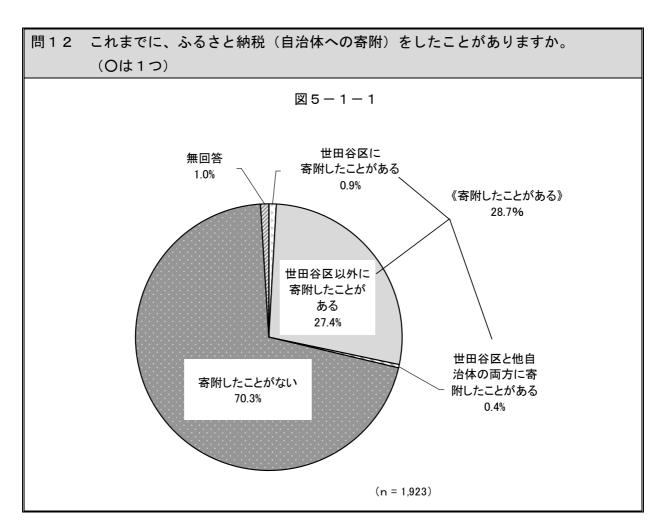
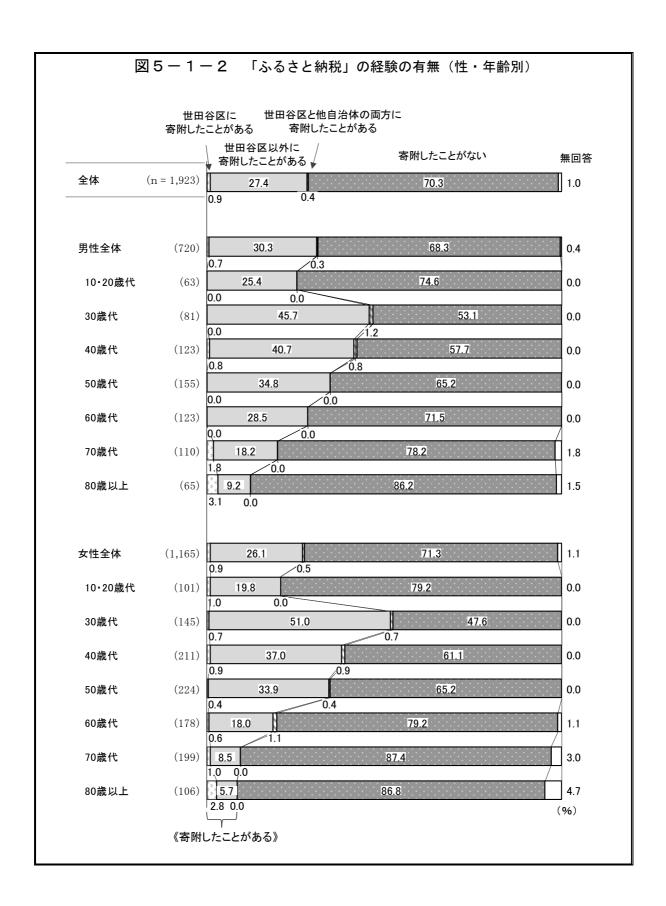
5. ふるさと納税

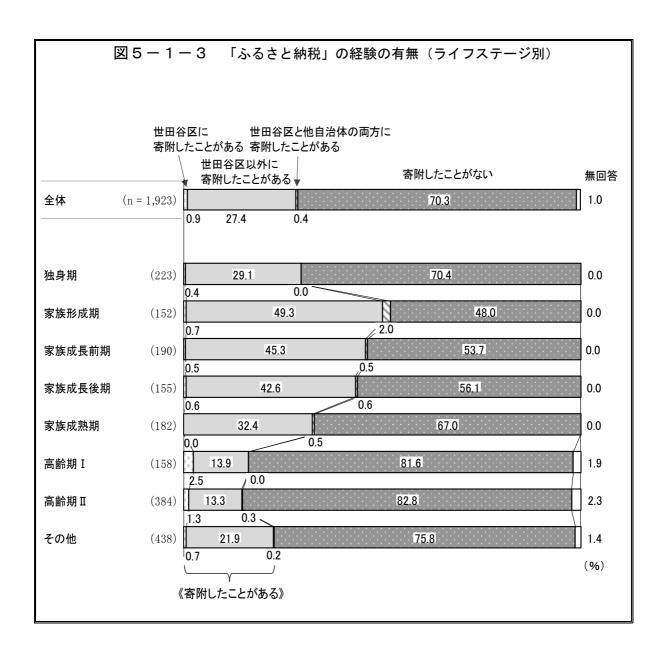
- (1)「ふるさと納税」の経験
 - ◎寄附したことがある方は3割近く



ふるさと納税(自治体への寄附)をしたことがあるか聞いたところ、《寄附したことがある》 (28.7%)は3割近くとなっています。一方、「寄附したことがない」 (70.3%)は7割となっています。 (図5-1-1)



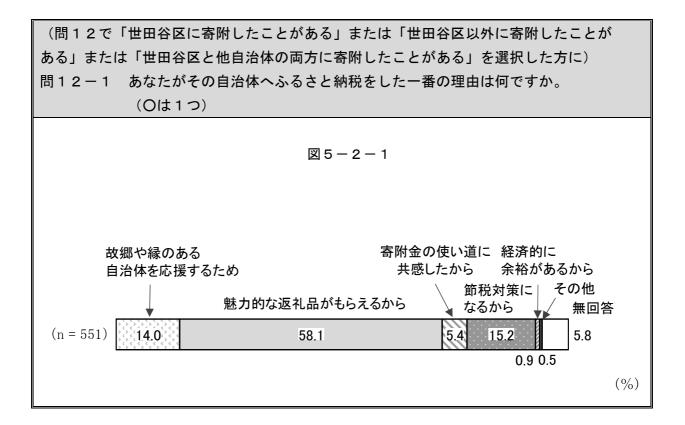
性・年齢別にみると、《寄附したことがある》は女性の 30 歳代が 5 割を超え、男性の 30 歳代 が 5 割近くと高くなっている。(図 5-1-2)



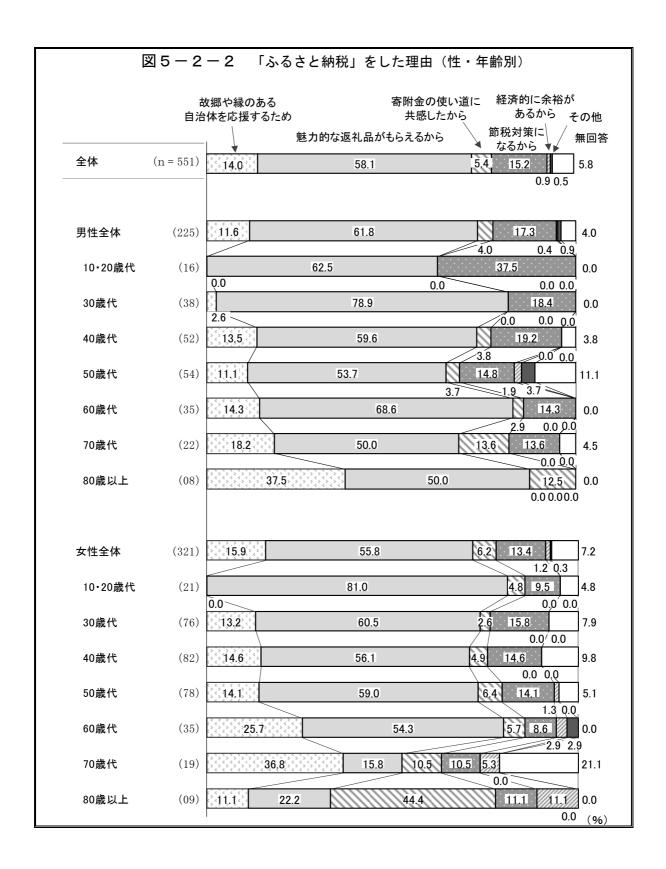
ライフステージ別にみると、《寄附したことがある》は家族形成期が5割を超え、「寄附したことがない」は高齢期I、高齢期Iが8割を超えて高くなっている。(図5-1-3)

(2)「ふるさと納税」をした理由

◎ふるさと納税をした理由を魅力的な返礼品がもらえるからとしている 方が6割近く

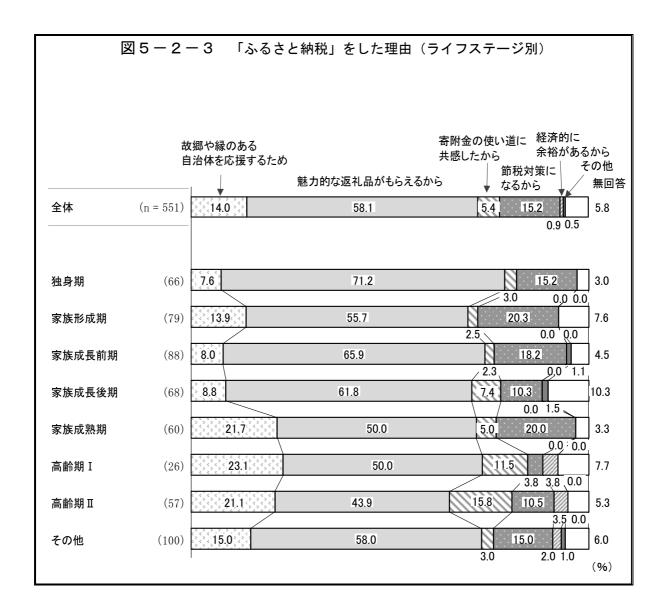


ふるさと納税をした理由を聞いたところ、「魅力的な返礼品がもらえるから」(58.1%)が 6 割近くと最も高く、「節税対策になるから」(15.2%)、「故郷や縁のある自治体を応援するため」(14.0%)、「寄附金の使い道に共感したから」(5.4%)、「経済的に余裕があるから」(0.9%)と続いている。(図 5-2-1)



性・年齢別にみると、「魅力的な返礼品がもらえるから」は男性の 30 歳代が 8 割近くと高くなっている。(図 5-2-2)

なお、基数が30に満たない層については参考値とする。

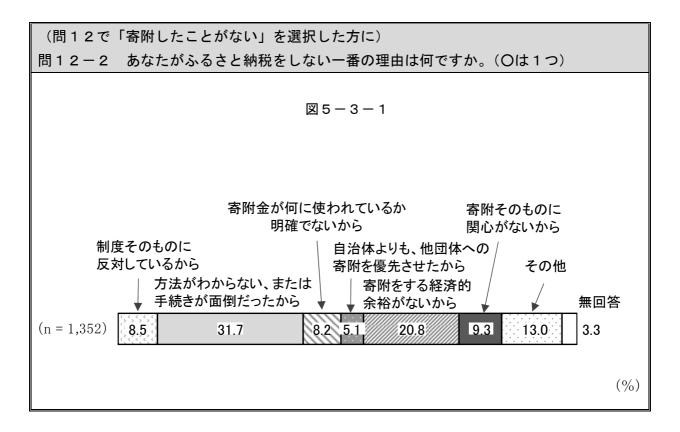


ライフステージ別にみると、「魅力的な返礼品がもらえるから」は独身期が7割を超えて高くなっている。(図5-2-3)

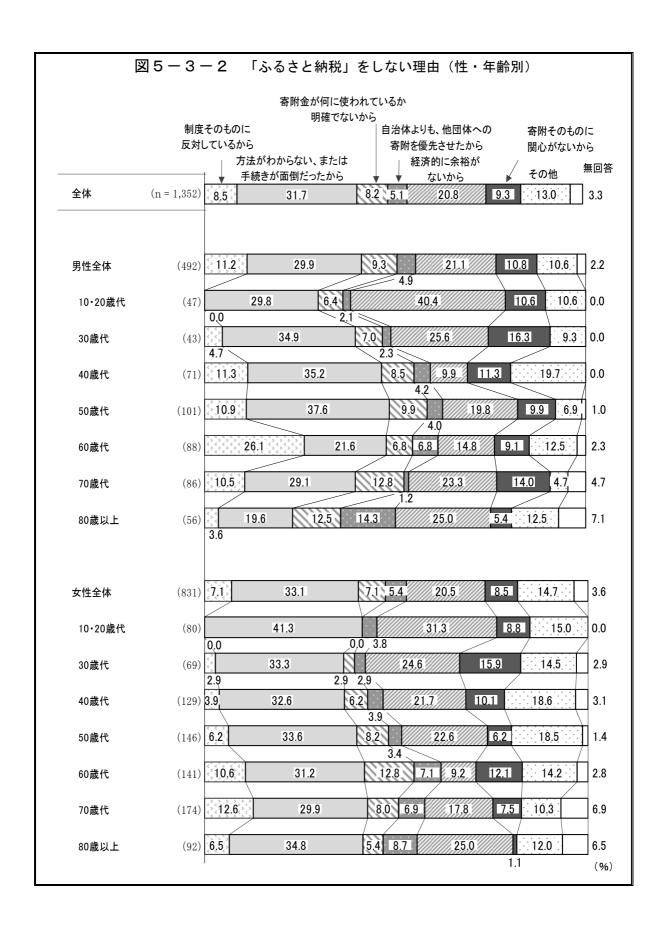
なお、基数が30に満たない層については参考値とする。

(3)「ふるさと納税」をしない理由

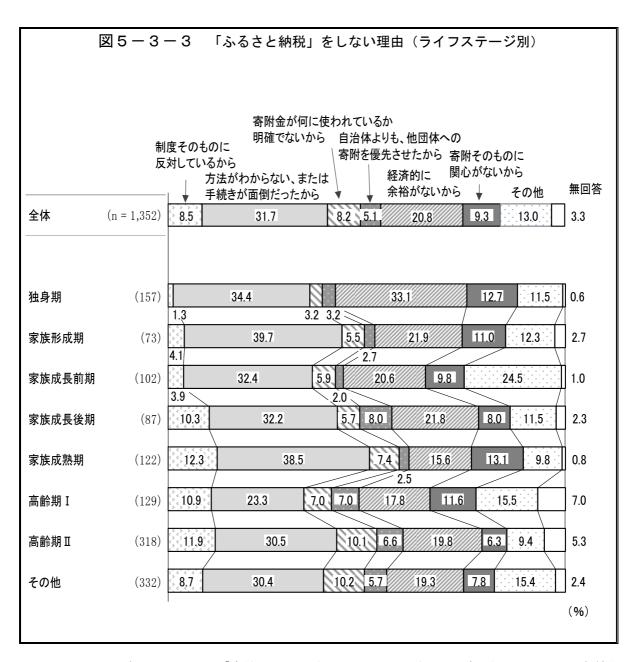
◎「方法がわからない、または手続きが面倒だったから」が3割超え



ふるさと納税をしない理由を聞いたところ、「方法がわからない、または手続きが面倒だったから」 (31.7%) が 3 割超えと最も高く、「寄附をする経済的余裕がないから」 (20.8%)、「寄附そのものに関心がないから」 (9.3%)、「制度そのものに反対しているから」 (8.5%)、「寄附金が何に使われているか明確でないから」 (8.2%) などと続いている。 (図5-3-1)



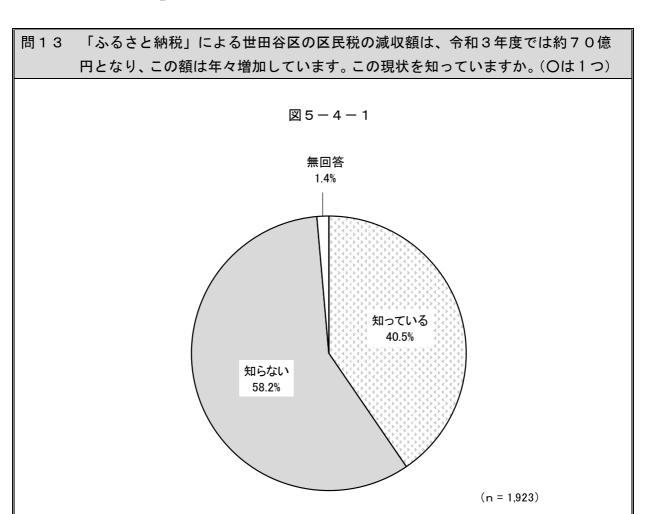
性・年齢別にみると、「方法がわからない、または手続きが面倒だったから」は女性の10・20歳代が4割を超え、「経済的に余裕がないから」は男性の10・20歳代が4割と高くなっている。



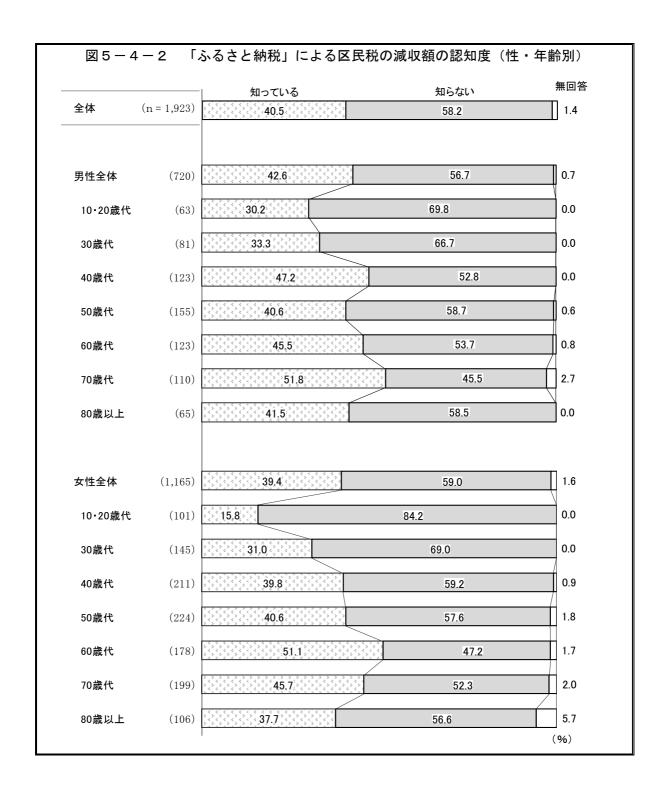
ライフステージ別にみると、「方法がわからない、または手続きが面倒だったから」が高齢期 I 以外で3割台となっている。また、「経済的に余裕がないから」は独身期が3割を超えて高くなっている。(図5-3-3)

(4)「ふるさと納税」による区民税の減収額の認知度

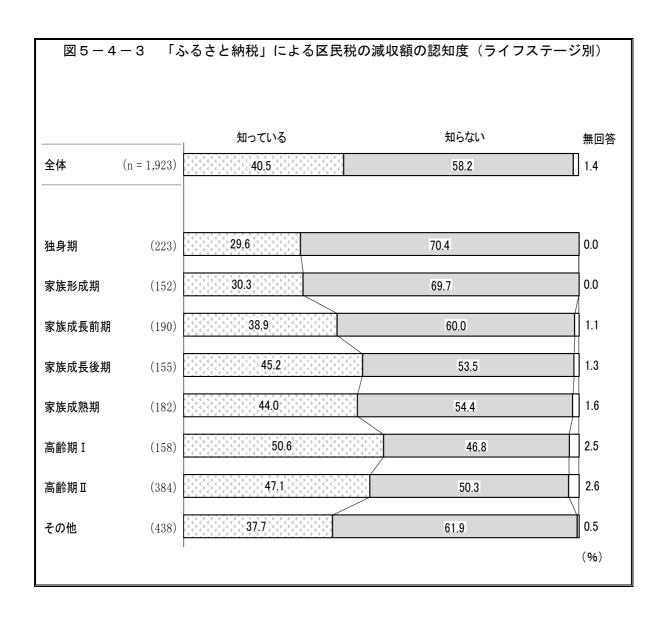
◎「知らない」方が6割近く



ふるさと納税による区民税の減収額について知っているか聞いたところ、「知らない」(58.2%) が 6 割近くと最も高くなっている。次いで、「知っている」(40.5%) がほぼ 4 割となっている。 (図 5-4-1)



性・年齢別にみると、「知らない」は女性の $10\cdot 20$ 歳代で 8 割半ばとなっている。一方、「知っている」は男性の 70 歳代、女性の 60 歳代で 5 割を超えている。(図 5-4-2)



ライフステージ別にみると、「知らない」は独身期、家族形成期で7割と高くなっている。 (図 5-4-3)